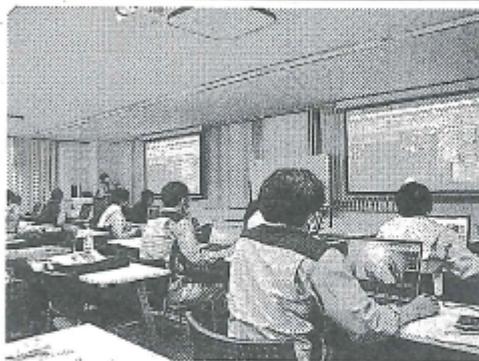


建設通信新聞

3D点群モデルの 作成基礎で講習会

測量協会九州

日本測量協会九州支部は2日、福岡市のリファレンス駅東ビルで2022年度「3D地形点群モデル解析基礎技術」の講習会を開いた。写真。参加者は、航空機搭載型と地上設置型のレーザー計測データを使った3次元点群モデル作成の基礎を実習で学んだ。冒頭、あいさつに立った同協会の住田英二専務理事が



「講習会は、レーザー計測による3次元地形点群モデル作成の手順、精度確保の基礎の習得を目的に開いている」と

趣旨を説明。引き続き、同氏が講師を務め、点群データの歴史や点群データの取得方法など3次元地形モデル作成方法などを解説した。

午後は、福井コンピュータの点群処理ソフト「TREN D-POINT」を使ったデータ解析処理を実習した。参加者は、講師を務める計測リサーチコンサルタントの安井伸顕博士が操作する画面を参考に、自身のパソコンを操作して基本操作から点群処理、三角網の作成・出力を行った。